

(様式1)

さが福祉サービス評価結果表

① さが福祉サービス評価機関名

福祉サービス評価センターさが

②施設・事業所情報

| | |
|-----------------------|----------------------------------------------------------------------------|
| 名称：小桜保育園 | 種別：保育園 |
| 代表者氏名：藤戸鉄也 | 定員（利用人数）： 120名 |
| 所在地：佐賀県神埼市神埼町本堀2565-1 | |
| TEL：0952（52）3345 | Web： http://kozakurahoikuen.net/ |

【施設・事業所の概要】

| | | |
|------------------------------|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 開設年月日：昭和29年4月1日 | | |
| 経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 小桜福祉会 | | |
| 職員数 | 常勤職員： 22名 | 非常勤職員 4名 |
| 専門職員 | 園長 1名 | |
| | 主任保育士 1名 | |
| | 副主任保育士 1名 | |
| | 保育士 15名 | 2名 |
| | 栄養士 1名 | |
| | 調理師・調理員 1名 | 1名 |
| | 看護師 1名 | |
| | 事務員 | 1名 |
| | バス運転手 1名 | |
| 施設・設備の概要 | 保育室 6室 ほふく室 5室 事務室 1室 給食室 1室 | （設備等） トイレ3か所 浴室1室、 倉庫4か所 |

③理念・基本方針

・事業目的

児童福祉法に基づいて、乳児及び幼児の保育事業を行う

・運営方針

仏教保育を通して、豊かな人間性を培い、生き生きと活力のある生き方が出来る子どもの育成を目指す。また、職員は、子どもたちと共に生き、共に育つことを基本として、日々の保育を行う。

（4つの柱を目指した保育方針）

①思いやりや共感を生み出す情緒の安定

- ②人間としての生きる力となる意欲の発達
- ③環境に応じたルールを守る社会性の発達
- ④他の3つの柱に支えられて育つ知的能力の発達

(子どもたちの保育目標)

- ①元気いっぱい遊べる子
- ②思いやりのある子
- ③感動できる子
- ④なんでも食べられる子

④施設・事業所の特徴的な取組

本園は、浄土真宗本願寺派西本願寺系の流れを組む仏教保育を基盤とする0歳児から5歳児を対象とした保育園である。日々の保育活動の支柱を『まことの保育』仏様の心を育てることと捉え、優しい心、命の尊さに注力し、日々の保育の中で大切に育てている。園の保育理念になっている『仏の子、みんな仲良し、心の輪』を願い、合掌する姿を通じて、慈愛の心が宿り、心身ともに大きく育まれることを望むことである。また、開園以来（昭和29年4月）取り組んでいる楽器を通じてのマーチング指導では、就学前の心身の発達、協調性、忍耐力を育むことに努め、感性豊かに育ち合う子どもたちの育成へと繋げている。

また本園は、周りを田園地帯と住宅地区に囲まれており、四季折々の農作業風景や自然からの音や匂い・地域の方からの声援を受けて、日々ゆっくりとした中で保育時間を過ごすことが出来ている。中でも0～2歳児の自由活動遊びや、以上児による年間を通じての農作物栽培体験などは地域とのふれあいの中で、突発的な活動に発展することも多い。地域との連携こそが園活動の要であり、地域との連携の中にこそ、これから園が発展していける大事なヒントが内包されているようである。現在、地域交流基地としての「ほっとスペース作り」に日々模索している。

また、年間を通じての農業体験では、こちらは主に以上児の活動であるが、近くの畑を借り、季節を通じて様々な農作物作りに精を出している。4月ジャガイモ収穫・玉ねぎ収穫、5月タケノコ堀、6月さつま芋の苗植え、7月はつか大根・胡瓜・トマト・不思議豆、8月ゴーヤ・茄子・ピーマン・西瓜、11月さつま芋収穫、12月大根・ジャガイモ収穫、2月ジャガイモの苗植え、3月人参などを農業経験者の方の指導の下に、種植えから水撒き、除草作業と収穫までを園児達と一緒に一貫して行っている。収穫時には、お世話になっている地域の方を招待しての収穫まつりや12月のお釈迦様成道会餅つき大会など、地域の方と一緒に過ごし愉しみ合える場を念頭に行事を開催している。その他にも、7月の七夕慰問や12月のお遊戯会慰問では、地域のデイケア施設や救護施設を訪問している。特に年長児を引率し、マーチングによる楽器演奏や生活発表会で披露したお遊戯や劇、歌を届け、利用者さんと共に楽しみ合っている。施設のお爺ちゃんやお婆ちゃんは毎年の慰問を持ち望んでおられ、触れ合いを喜ばれている。また、核家族、少子化など家庭で触れ合う機会が少ない園児も、このふれあいを通して、地域での繋がりをより強く感じ、優しい心、敬いの心を学んでいる。

最後に日本の未来を背負うであろう子どもたち、今後はますます閉塞する社会が予想される。力強い社会を担って貰いたいものである。その為にも、育ちの根幹を為す大事な部分を、あたたかく温もりのある社会の中で、尊いのちの結びつきを実感出来る様に、これからの行事等を取り組んでいきたい。より一層に園での保育や行事に、保護者の参加や地域との関わりを計画し、保護者や地域の方々を巻き込みながら子育て、親育て、共育ちと地域活性化の為に積極的に取り組み継続努力していきたい。

⑤さが福祉サービス評価の受審状況

| | |
|---------------|-----------------------------------------|
| 評価実施期間 | 平成28年3月4日（契約日） ～ 平成28年6月10日（評価結果確定日） |
| 受審回数(前回の受審時期) | 1回（平成 年度） |

⑥総評

◇特に評価の高い点

- 1 園の基本方針や保育方針、保育目標、事業活動内容等は、園のパンレットやしおり、園ホームページ等で公表され、園においても随時閲覧できるとともに、施設見学や保護者会・保育参観での説明など分かり易い情報提供に努められている。
- 2 園の保育方針及び保育目標を踏まえ、各年度の保育計画、園児の年齢に応じた各クラスの保育計画及び個々の園児の個別保育計画がクラス会議、職員会議で検討・作成され、保育サービスが実施されるとともに、パソコンや園児の個人ファイルを利用した情報の共有化、四半期毎の指導計画のチェック見直しもされている。
また、保護者との毎日の連絡簿の内容充実、毎月の「園だより」及び「クラスだより」の配布、園のホームページや電子メールを活用した各種情報の提供、保育参観の定期的な開催及び随時の受け入れ、保育相談の随時受け付けも行われている。
- 3 保育室やそれに接続するテラスの整備、室内の飾りつけ・掲示物等園児の年齢、活動の広がりやを考慮した環境整備に配慮され、保護者のニーズを踏まえつつ個々の園児の子どもらしさを大切にしようとする様子が十分うかがえる。
また、屋内外の遊具も園児の発達段階を考慮して整備され、レンタルによる大型遊具の年数回の入れ替え等も行われている。
- 4 入園前の保護者アンケートや面談により、食事、排泄、アレルギーの有無、日常生活リズム等園児の心身の状況把握を行い園児個々の保育計画に反映するとともに、年2回の内科健診、歯科検診、定期的なフッ素洗口、看護師による日々の健康状態の把握・管理に努められている。
また、必要に応じて保護者への連絡や連絡簿によるお知らせがなされ、感染症の予防や発生状況等の情報提供も送迎箇所への掲示、メール配信、園やクラスのおたより等によりなされている。
- 5 「いのちの尊さに気づき、育ち合う「いのち」のおかげに感謝する」との目標のもと食育計画に基づき地産地消も念頭においた給食計画に基づき実施され、偏食の解消等園児の年齢や個性に応じた配慮とともに、季節ごとの行事食の工夫や毎月の食育会議でのチェック・検討がなされている。
また、お弁当の衛生的な保管・寒冷時の保温のための器具の整備とともにテーブルや椅子の配置等落ち着いた安心できる場となるよう配慮されている。
- 6 手洗い、うがい、歯磨き、洗足、履物やバッグの整理、遊具の片付け等園児の発達段階に

応じて生活習慣を身に着けるための指導がなされていることが十分うかがえる。

- 7 各種の季節行事や園外散歩、お出かけ行事等、身近な自然、地域社会とのかかわりを体験できる機会づくりとともに、お遊戯会や運動会等園児の自主的な実践活動・発表を促す行事開催に努められている。

また、3歳以上児は、自然と触れ合う機会を数多く確保するため、地域の方々の協力も得て四季折々の野菜の植え付け、除草、収穫等年間を通じた農作物栽培や年長児のマーチング演奏による園内外での発表活動等に取り組み、園児はもとより地域の方々とともに楽しみ、交流を深める活動がなされている。

- 8 保護者アンケートや随時保護者や職員から上がってきた意見・課題等について検証し、理事会、職員会議等で検討され、必要に応じた保護者への公表等がなされている。

また、苦情についても、苦情受付担当者の配置、第三者委員会の設置等体制を整備し、対応状況の理事会への報告、公表等が同様になされている。

- 9 リスクマネジメントに関するマニュアルに基づくヒヤリ・ハットや事故報告の収集と未然防止・再発防止に向けた取り組み、感染症予防に関するマニュアルに基づく感染症の予防と発生時の対応等の体制が整備されており、保健便りや園だより等で保護者への注意喚起、情報提供もなされている。

また、安全管理マニュアルも整備され、職員への周知とともに定期的な避難防災訓練を関係機関と連携しながら実施されている。

◇改善を求められる点

- 1 平成30年4月竣工を目標にした園舎改築に向けて、中・長期計画、収支計画の見直しに着手されているが、具体的な計画文書の作成に至っていない状況であり、経営の現状・課題を踏まえた具体的な中・長期計画及び収支計画の早期策定が望まれる。

また、毎年度作成されている年度事業計画についても、取り組む目標や内容によっては数値目標も取り入れた、より具体的な事業計画の策定が望まれる。

- 2 福祉サービスの質の向上に向け、PDCA（計画・実施・評価・見直し）サイクルに基づく取り組みが行われているが、組織的な取り組みにまでは至っておらず、職員間での課題の共有化が十分に機能していないように見受けられる。PDCAサイクルに基づく組織的、継続的な取り組みが望まれる。

- 3 福祉人材の確保が全国的な課題とされている中、当園でも人材確保に苦慮されており、具体的な人材確保・育成に関する計画を作成して、計画的な採用・求人活動、継続的な職員の教育・研修に取り組まれることが望まれる。

また、職員アンケート調査、理事長・園長等との面談、子どもの心の育ちを全職員で考える「エピソード会議」の開催等を行い、自らの保育実践活動を見直す機会とされているが、「自

己評価ガイドライン」等による定期的な評価の取り組みには至っておらず、自己評価の定期的な取り組みについて、検討されるよう期待している。

4 大学生をはじめとする実習生の受け入れに際し、学校側との連携はその都度図られているものの実習生受け入れに関するマニュアルが未整備であり、実習指導マニュアルや実習プログラムの作成、実習指導者の研修受講等の受け入れ体制の整備が望まれる。

また、園の行事や園児の農作業体験をはじめボランティアの受け入れも積極的になされているが、ボランティア受け入れに関する基本的考え方や受け入れ体制等が明確化されていないのでマニュアル等を整備し、ボランティア活動に協力していただく地域の方々や学校、関係団体に対し、明確にしておくことが望まれる。

5 園の持つ資源や機能、人材、ノウハウを地域に開放し、役立てていく地域社会への貢献活動を、なお一層積極的に展開することが園の役割であると認識されており、地域の福祉ニーズの把握とともに、市、地域社協、民生・児童委員協議会等との情報交換・連携を強化し、地域の福祉ニーズに応える事業活動の更なる展開に期待したい。

6 個人情報保護について、職員に対する教育・研修はなされているが、事故防止のための記録・保管・管理方法や漏洩時の対応策等具体的な取り扱いに関するマニュアル等が未整備であり、その早急な整備、組織体制の確立が望まれる。

⑦さが福祉サービス評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価受審の結果を真摯に受けとめ、全職員とこの課題に向き合い、改善努力していきたいと思えます。また職員参画のもとに、より良い福祉サービスを提供できるよう、常に地域や利用者の声に耳を傾け、継続的な取り組みとなるよう全職員共々に努めて行きたいと思えます。

⑧さが福祉サービス評価結果

別紙の「さが福祉サービス評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙1)

さが福祉サービス評価結果

※すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

Ⅰ-1 理念・基本方針

| | | 第三者評価結果 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|---------|
| Ⅰ-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。 | | |
| 1 | Ⅰ-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>仏教保育を基盤とする法人の理念、園の運営方針、保育方針と保育目標が確立され、明確にされていることが読み取れる。これら運営方針や保育目標等は、園のパンフレットや園のホームページ、入園のしおり(重要事項説明書)等で知ることができるとともに園内各所にも掲示されている。また、保護者会や保育参観日等の際に周知、説明もなされている。</p> <p>職員に対しても職員会議等で、園の運営方針、保育方針、保育目標を議題とし、周知に努められているが、その内容理解に温度差が有るように感じられるので、なお一層の周知に向けた継続的な取り組みが望まれる。</p> | | |

Ⅰ-2 経営状況の把握

| | | 第三者評価結果 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|---------|
| Ⅰ-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。 | | |
| 2 | Ⅰ-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>全国や県の社会福祉施設経営者協会、保育士会、市役所からの情報収集、神崎市子育て会議(市、市社会福祉協議会、民生児童委員協議会、市内の保育園・幼稚園・小中校・同PTA・大学等で構成)活動を通じての情報収集に努められている。</p> <p>しかし、これら収集した情報の把握・分析を、これまで以上に強化することが課題であると認識されており、その取り組み強化が望まれる。</p> | | |
| 3 | Ⅰ-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>市子育て会議や保護者懇談会、保育相談・育児相談等を通じて、園を取り巻く地域の潜在的利用者や福祉に関するニーズの把握に努められている。</p> | | |

しかし、これら地域の潜在的利用者や福祉に関するニーズの把握とその分析をしっかりと行い、園の経営課題を明確にし、具体的な取り組みに結びつける必要があると認識されており、その取り組み強化が望まれる。

I-3 事業計画の策定

| | | 第三者評価結果 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|---------|
| I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。 | | |
| 4 | I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>平成30年4月竣工を目標にした園舎改築に向けて、中・長期計画、収支計画の見直しに着手されているが、具体的な計画文書の作成に至っていない状況である。</p> <p>経営状況や経営課題を踏まえ、具体的な中・長期計画及び収支計画の早期策定が望まれる。</p> | | |
| 5 | I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>単年度の事業計画は策定されているが、中・長期計画を基に数値目標や具体的な成果等について実施状況を評価することが困難な状況である。</p> <p>当該年度に取り組む具体的な目標や内容によっては数値目標も取り入れた各年度の事業計画の策定が望まれる。</p> | | |
| I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。 | | |
| 6 | I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>職員会議等で事業計画の策定、内容の説明、実施状況の把握や評価がなされている。</p> <p>しかし、事業計画の策定は、園長及び主任保育士、事務責任者等一部の職員の参加にとどまっており、全職員の参画による計画策定が望まれる。</p> | | |
| 7 | I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>保護者会での事業計画や行事計画等の配布・説明がなされるとともに、園だより、クラスだより、園ホームページ等により周知されている。</p> <p>しかし、説明不足感は否めないと認識されており、わかりやすい説明資料や印刷物、園ホームページの内容の工夫などの取り組みを期待したい。</p> | | |

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

| | | 第三者評価結果 |
|------------------------------------|--|---------|
| I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。 | | |

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|---------|
| 8 | I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>PDCA（計画・実施・評価・見直し）サイクルに基づく福祉サービスの質の向上に向けた取組が行われてはいるが、組織的な取り組みにまでは至っておらず、職員間での課題の共有化が十分に機能していないように見受けられる。組織的、継続的なPDCAサイクルに基づく取り組みが求められる。</p> | | |
| 9 | I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>年度末に保護者アンケートを実施するとともに職員会議で、保育計画や各種行事などのまとめ改善すべき課題等について検討し、園だよりで保護者に対し周知されている。</p> <p>しかし、これらの分析、評価結果及び課題等の整理・記録が十分なされているようには見られず、今後一層の取り組み強化が望まれる。</p> | | |

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

| | | 第三者評価結果 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------|
| Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。 | | |
| 10 | Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>園長の役割と責任については文書化され、職員会議や職員研修等で周知に努められている。</p> <p>しかし、全職員に周知・理解されているとは言い難く、周知・理解に向けた更なる取り組みが望まれる。</p> | | |
| 11 | Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>遵守すべき法令等を把握し、理解を深めるため、研修会等への参加や園内での研修会が開催されている。</p> <p>しかし、職員の周知・理解が必ずしも十分ではないとも認識されており、遵守すべき法令のリスト化等をし、一層の職員の周知・理解に向けた取り組み強化が望まれる。</p> | | |
| Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。 | | |
| 12 | Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>事業計画、行事計画作成をはじめ園長が率先して取り組まれ、に参加されている。</p> <p>今後、なお一層の福祉サービスの質の向上に向けて職員の教育・研修の充実に努め、全職</p> | | |

| | | |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|---------|
| 員挙げての活動展開が望まれる。 | | |
| 13 | Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>毎月の職員会議、クラス会議、食育会議等での協議を踏まえ、業務の改善・効率化、環境整備等がなされている。</p> <p>しかし、財務、労務、人事等の状況を踏まえた分析・把握までには至っておらず、経営の改善や業務の実効性に向けた取り組みの強化が望まれる。</p> | | |

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

| | | 第三者評価結果 |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|---------|
| Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。 | | |
| 14 | Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。 | a・b・(c) |
| <p><コメント></p> <p>保育士等必要な人員体制の確立と人材の確保を図るとの方針の下で求人活動をされているが、人材確保に苦慮されている。</p> <p>福祉人材の確保が全国的な課題とされてはいるが、具体的な人材確保、育成に関する計画的な採用・求人活動の継続的取り組みが望まれる。</p> | | |
| 15 | Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>毎年1回職員面談を行い、職員の意向や意見等を聴取し、改善策の検討がされているが、職員処遇等の人事基準が明確化されているとは言い難い状況である。</p> <p>人員基準の明確化とその職員への周知を図るとともに、職員処遇の水準等について評価・分析する取り組み、職員のスキルアップにも繋がるような人事考課制度の導入など総合的な人事管理制度の仕組みづくりが望まれる。</p> | | |
| Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。 | | |
| 16 | Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>就業状況等の労務管理は的確になされており、年1回の職員面談及び随時の相談を受けるための相談窓口の設置等もされている。また、退職手当共済制度への加入、定期健康診断の実施、ユニフォーム支給等も行われている。</p> <p>しかし、年次有給休暇の取得促進をはじめ、福利厚生の実質が検討課題と認識されており、その進展に期待したい。</p> | | |
| Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。 | | |
| 17 | Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> | | |

| | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|---------|
| <p>園の基本方針等を踏まえ、職員面談等により各職員のスキルアップのための教育・研修に関する目標や希望等を把握し、その実施状況も把握されている。</p> <p>しかし、園の基本方針、研修計画と各職員の目標・希望の内容等との関係が明らかではなく、実効性のある研修計画の作成から、実施評価・計画見直しまでの取り組みの強化が望まれる。</p> | | |
| 18 | <p>Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。</p> | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>職員の教育・研修計画を基に、毎年度広く園内外の教育・研修の場を活用して実施されている。</p> <p>しかし、必ずしも策定された計画内容に沿った研修会や学びの場として十分とは言い難く、また、計画の評価、見直しも同様であり、計画的な教育・研修の実施とその評価を行う取り組みの強化が望まれる。</p> | | |
| 19 | <p>Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。</p> | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>各職員の希望等も踏まえた園内外での教育・研修の情報提供とともに、それらへの参加受講の働きかけもなされている。また、新任職員の職場研修（OJT研修）にも配慮されている。</p> <p>しかし、職員のスキルアップを目指した教育・研修への参加促進や職場研修を基本とした研修プログラムについて職員の理解を深めることなど組織的な取り組みの強化が望まれる。</p> | | |
| <p>Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。</p> | | |
| 20 | <p>Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。</p> | a・b・(c) |
| <p><コメント></p> <p>大学生をはじめ広く実習生を受け入れられているが、受け入れに際し、学校側との連携はその都度図られてはいるものの実習生受け入れに関するマニュアルが未整備である。</p> <p>実習指導マニュアルや実習プログラムの作成、実習指導者の研修受講等の体制整備を求めたい。</p> | | |

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|---------|
| | | 第三者評価結果 |
| <p>Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。</p> | | |
| 21 | <p>Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。</p> | (a)・b・c |
| <p><コメント></p> <p>園の基本方針や、保育目標、事業活動内容等は、保護者会や園ホームページ、パンフレット等を通して公表されており、園においても随時閲覧できる。また、神崎市子育て会議の場をはじめ地域への情報発信にも努められている。</p> | | |

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------|---------|
| 22 | Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>園の事務や経理、契約等の取引業務は関係法令や内部諸規程等に基づき適切に処理されている。</p> <p>しかし、園舎の全面改築構想の数年後の実現に向けたこれからの事業運営を考えると、専門家による外部監査や指導を得ることも検討されたい。</p> | | |

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

| | | 第三者評価結果 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------|---------|
| Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。 | | |
| 23 | Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>年間を通した農作業体験を通しての地域の方々との触れ合い交流、地域行事や福祉施設へのマーチングの出演訪問をはじめとする地域社会への参加とともに、園行事への参加呼びかけ、子育てや保育に関する相談受付や情報提供など数多くの交流の機会を設けられている。</p> <p>園では、自らの持つ子育てに関する知識や経験を活用した地域との一層の連携・地域貢献を図ることが課題と認識されており、市子育て会議をはじめ地域関係者や関係団体との意見交換の場の確保・活動の活性化のための積極的な働きかけが望まれる。</p> | | |
| 24 | Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。 | a・b・(c) |
| <p><コメント></p> <p>園の行事や園児の農作業体験をはじめボランティア活動に負うところは多く、積極的に受け入れられている。</p> <p>しかし、ボランティア受け入れに関する基本的考え方や受入れ体制等が明確化されていない。マニュアル等を整備し、ボランティア活動に協力していただく地域の方々や学校、関係団体に対し、明確にしておくことが望まれる。</p> | | |
| Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。 | | |
| 25 | Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>市子育て会議を通して保育園、幼稚園、小中校、行政等地域の関係機関・団体の連携・協力が図られているが、その活動は必ずしも活発とは言い難いようである。</p> <p>地域の関係機関・団体の相互の情報交換、連携・協力の強化を図り、地域を挙げてのよりよい福祉サービス提供に向けた、園の積極的な働きかけ、取り組みを期待したい。</p> | | |
| Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。 | | |
| 26 | Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> | | |

| | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|----------------|
| <p>子育て支援に向けた相談の受付や園内外の行事への相互参画を図られている。しかし、園の有する機能・資源・ノウハウを地域に開放し、役立てていくネットワーク、環境づくりが望まれる。</p> | | |
| 27 | <p>Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。</p> | <p>a・(b)・c</p> |
| <p><コメント></p> <p>園の持つ資源や機能、人材を活かした地域社会での貢献活動が十分に行われているとは言えない。地域の福祉ニーズの把握に努め、市、地域社協、民生・児童委員協議会等との情報交換・連携を強化し、地域の福祉ニーズに応える事業活動の展開に期待したい。</p> | | |

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

| | | 第三者評価結果 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|----------------|
| <p>Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。</p> | | |
| 28 | <p>Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。</p> | <p>a・(b)・c</p> |
| <p><コメント></p> <p>園の保育方針、保育目標を踏まえ、各クラスの保育計画、個々の園児の保育計画に基づき日々の保育活動が行われている。また、職員による「エピソード会議」を随時開催し、基本的な育ちやその子らしい個々の育ちを再確認する取り組みもされている。</p> <p>今後は、このエピソード会議を定期的な開催とする取り組み強化について検討見直しを考えられており、その進展に期待したい。</p> | | |
| 29 | <p>Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。</p> | <p>a・(b)・c</p> |
| <p><コメント></p> <p>虐待の防止や園児・保護者のプライバシーの保護に関する規程等は整備され、職員研修等も実施されている。</p> <p>しかし、職員や保護者に対してその取組状況を周知し理解を深める取り組みを強化することが重要と認識されており、具体的な対処方針、未然防止策等も含めたマニュアル等の整備とその周知への取り組み強化が望まれる。</p> | | |
| <p>Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。</p> | | |
| 30 | <p>Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。</p> | <p>(a)・b・c</p> |
| <p><コメント></p> <p>園のパンレットやしおり、ホームページ等での情報提供、施設見学や保育参観、保護者会での説明など分かり易い情報提供に努められている。</p> | | |
| 31 | <p>Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。</p> | <p>a・(b)・c</p> |
| <p><コメント></p> | | |

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------|
| <p>入園時までには各クラス毎にお便りや各種資料が配布され、保護者会等で説明されている。また、保護者に対する園児の心身の状況に関する聞き取りやアンケートも実施されている。</p> <p>なお、園では、保護者の保育サービスに対する理解を深め、サービス利用についての意思決定を支援する方策の検討が課題と考えられており、議論の進展に期待したい。</p> | | |
| 32 | Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>園児が他の園に移行等する場合は、保護者と協議し、必要な記録、資料等の提供、引継ぎされている。また、就学した卒園児についても保護者及び小学校との連携に配慮されている。</p> <p>転園児や卒園児の保護者や学校等の関係機関との連携を深め、相談等を受ける組織的な取り組み体制づくりを課題と考えられており、議論の進展に期待したい。</p> | | |
| Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。 | | |
| 33 | Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>保護者会での意見等聴取、相談受け付け、毎年度末の保護者アンケート等により保健衛生、保育時間、給食その他多様な声を聞き、課題を把握し、それらの資料が公開されている。</p> <p>しかし、現在、年長児組にとどまっている定期的な個別面談の他クラスへの拡大に期待したい。</p> | | |
| Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。 | | |
| 34 | Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。 | (a)・b・c |
| <p><コメント></p> <p>苦情受付担当者の配置、第三者委員会の設置等体制の整備が図られ、対応状況の理事会への報告、苦情申し出者への報告、必要に応じた保護者への公表等がなされている。</p> | | |
| 35 | Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>園のしおりやパンフレット、保護者会での説明、園だより等での周知に努められている。</p> <p>今後更に、相談場所や相談窓口等の情報を明確にし、保護者に周知したいとの考えであり、その取組強化に期待したい。</p> | | |
| 36 | Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。 | a・(b)・c |
| <p><コメント></p> <p>利用者からの相談や意見は、担当職員はじめ全職員共通の課題と捉え、対応する体制が採られている。</p> <p>今後更にマニュアル等職員への周知を図り、統一した迅速な対応に努めたいとの考えであり、その取組強化に期待したい。</p> | | |
| Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。 | | |

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|-------|
| 37 | Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>リスクマネジメントに関する責任者が配置され、マニュアルの整備、ヒヤリ・ハットや事故報告の収集、再発防止、未然防止に向けた取り組み体制が構築され、機能している。</p> | | |
| 38 | Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>感染症予防と発生時の対応等のマニュアルが整備、周知され、保健だよりや園だよりで保護者への注意喚起、情報提供もなされている。</p> | | |
| 39 | Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的に行っている。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>安全管理マニュアルを整備し、職員に周知するとともに定期的な避難防災訓練を関係機関と連携しながら実施されている。</p> | | |

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

| | | 第三者評価結果 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|---------|
| Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。 | | |
| 40 | Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。 | a・Ⓑ・c |
| <p><コメント></p> <p>園全体、各クラスの園児の発達段階等を踏まえた実施方法がファイル化され、随時チェック確認できるようにされている。</p> <p>今後更に、職員の理解を深め、実践に繋がる継続的な取り組みに期待したい。</p> | | |
| 41 | Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>保護者アンケートや年度を通じて保護者や職員から上がってきた意見・課題等について検証し、理事会、職員会議等で検討されている。</p> | | |
| Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。 | | |
| 42 | Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> <p>各クラス毎の保育計画、個々の園児の保育計画等は、クラス会議、職員会議で協議検討され、四半期毎に見直しされている。</p> | | |
| 43 | Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。 | Ⓐ・b・c |
| <p><コメント></p> | | |

| | | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|---------|
| <p>保育計画等は定期的に評価・見直しがされるとともに、改変を求める緊急な事案については、担当職員、主任保育士、園長とその都度協議し改訂されている。また、クラス会議や職員会議を通じ、その周知徹底も図られている。</p> | | |
| <p>Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。</p> | | |
| 44 | <p>Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。</p> | (a)・b・c |
| <p><コメント></p> <p>保育計画等の様式や記載方法等を統一して職員への周知を図り、定期的に評価・見直しがされるとともに、パソコンや園児の個人ファイルを利用して情報の共有化も図られている。</p> | | |
| 45 | <p>Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。</p> | a・b・(c) |
| <p><コメント></p> <p>個人情報保護について、職員に対する教育・研修はなされているが、事故防止のための記録・保管・管理方法や漏洩時の対応策等具体的な取り扱いに関するマニュアル等が未整備であり、その早急な整備、組織体制の確立が求められる。</p> | | |

(別紙3)

評価細目（福祉サービス別項目【保育所版】）の福祉サービス評価結果

評価分類1 保育所保育の基本

1-(1) 養護と教育の一体的展開

| 評価細目 | 評価結果 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子ども心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。 | Ⓐ・b・c |
| 1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。 | Ⓐ・b・c |
| 1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。 | Ⓐ・b・c |
| 1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。 | a・Ⓑ・c |
| 1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。 | Ⓐ・b・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>① 園の保育方針及び保育目標を踏まえ、各年度の保育計画、園児の年齢に応じたクラス毎の保育計画及び個々の園児の個別保育計画が作成され、これらに基づき保育サービスが実施されるとともに、四半期毎の定期的なこれらの指導計画のチェック見直しもなされている。 また、保護者との毎日の連絡簿の内容充実、毎月の「園だより」及び「クラスだより」の配布、園のホームページや電子メールを活用した各種情報の提供が行われるとともに、保育参観の定期的な開催及び随時の受け入れ、保育相談の随時受け付けも行われている。</p> <p>② 園児の年齢に配慮した明るく清潔な保育室の環境整備、設備整備に配慮され、衛生、健康、安心、観察と心配りをされていることがうかがえる。また、日々の連絡帳等による情報交換も密になされている。</p> <p>③ 保育室やそれに接続するテラスの整備、室内の飾りつけ・掲示物等園児の活動の広がりにも考慮した環境が整備され、保護者のニーズを踏まえつつ個々の園児の子どもらしさを大切にしようとする様子が十分うかがえる。</p> <p>④ 園児の年齢に配慮した各保育室の環境整備、異年齢児との共通の遊びやふれあいにも配慮した屋内外の遊具の整備等に努められている。 また、年間を通じた園外での農作業体験、年長児のマーチング活動など、自然と触れ合い、あるいは、集団活動を体験する機会の確保に努められている。 市教委主催で毎年数回開催される「幼保小会議」の場を活用した関係機関の連携・協力も図られているが、地域ぐるみの子育て支援の充実に向けて、これら関係機関に対し相互取り組みの充実強化について園として積極的に働きかけられることが望まれる。</p> <p>⑤ 年長児を中心とした小学校訪問や小学生児童との交流会の開催、保護者との就学前相談や個人面談の実施、保護者の意向を踏まえた小学校との情報交換、園の職員と学校職員の合同研修会等が行われている。</p> | |

1-(2) 環境を通して行う保育

| 評価細目 | 評価結果 |
|-----------------------------------------------------------|-------|
| 1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。 | a・Ⓑ・c |

| | |
|------------------------------------------------------------------|-------|
| 1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。 | ㉑・b・c |
| 1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。 | ㉑・b・c |
| 1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人的・物的環境が整備されている。 | ㉑・b・c |
| 1-(2)-5 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、さまざまな表現活動が自由に体験できるような人的・者的環境が整備されている。 | ㉑・b・c |

〈コメント〉

- ① 園児たちが自由におおらかに心身ともに発達していけるよう屋内外の環境整備に工夫されていることが、各保育室やテラス等の配置、午睡や安静時の環境整備、室内装飾や掲示物等の様子からうかがえる。
保育室等園児の活動領域拡大等のため、現在、建物の全面改築構想を検討中とのことであり、その進展に期待したい。
- ② 手洗い、うがい、歯磨き、洗足、履物やバッグの整理、遊具の片付け等園児の発達段階に応じて生活習慣を見につけるための指導がなされていることが十分うかがえる。
- ③ 屋内外の遊具も園児の発達段階を考慮して整備されており、レンタルによる大型遊具の年数回の入れ替え等も行われている。また、園児の自主活動による室内外の飾り付けや各種行事の際の用品の作成等のほか、年長児のお泊り保育も実施されている。
- ④ 各種の季節行事や園外散歩、お出かけ行事等、身近な自然、地域社会とのかかわりを体験できるよう努められるとともに、3歳以上児は、自然とのふれあう機会を数多く確保するため、地域の方々の協力も得て四季折々の野菜の植え付け、除草、収穫等年間を通じた農作物栽培等もされている。
- ⑤ 前述の農作業体験の他、お遊戯会や運動会等園児の自主的な実践活動・発表を促す行事開催、年長児のマーチング演奏による園内外での発表活動にも取り組み、園児はもとより地域の方々とともに楽しみ、交流を深める活動がなされている。

1-(3) 職員の資質向上

| 評価細目 | 評価結果 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。 | a・㉒・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>年1回の職員アンケート調査及び理事長・園長等との面談を実施し、自らの保育実践活動を見直す機会にするとともに、子どもの心の育ちを全職員で考える「エピソード会議」を開催して保育実践につなげる取り組みをされている。</p> <p>しかし、「自己評価ガイドライン」等による定期的な取り組みには至っておらず、主体的な自己評価の定期的な取り組みについて、検討に着手されるよう期待している。</p> | |

評価分類2 子どもの生活と発達

2-(1) 生活と発達の連続性

| 評価細目 | 評価結果 |
|------|------|
|------|------|

| | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。 | ㉑・b・c |
| 2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | a・㉒・c |
| 2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。 | ㉑・b・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>① 職員が園児一人ひとりに声をかけ、働きかけをするよう努められていることが毎日の連絡簿の記載等からもうかがえる。</p> <p>② 障がい児の受け入れとともに、アレルギーや障がいの有無等園児の身体状況、生活環境に配慮した保育活動が医療機関や療育機関、保護者との連携の下でなされている。</p> <p>③ 地域や保護者のニーズを踏まえて希望者に対する延長保育及び延長保育時のおやつ等の配慮、通園バスによる送迎も実施されている。</p> | |

2-(2) 子どもの福祉を増進することに最もふさわしい生活の場

| 評価細目 | 評価結果 |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。 | ㉑・b・c |
| 2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている | ㉑・b・c |
| 2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。 | ㉑・b・c |
| 2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。 | ㉑・b・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>① 入園前に食事、排泄、アレルギーの有無、日常生活リズム等について、保護者アンケート及び必要に応じ面談聴取して園児の心身の状況把握を行い、園児個々の保育計画、健康管理に努められている。</p> <p>② 給食は、主食は持参する副食物の給食を原則とし、また、各保育室での摂食となっていますが、テーブルや椅子の配置等落ち着いた安心できる場となるよう配慮されている。また、季節ごとの行事食の工夫や毎月の食育会議でのチェック・検討がなされている。</p> <p>③ 「いのちの尊さに気づき、育ち合う「いのち」のおかげに感謝する」との目標のもと食育計画に基づき地産地消も念頭においた給食計画に基づき実施されており、偏食の解消等園児の年齢や個性に応じた配慮もされている。</p> <p>④ 年2回の内科健診、歯科検診、定期的なフッ素洗口とともに看護師による日々の健康状態の把握、必要に応じて保護者への連絡や連絡簿によるお知らせがなされている。感染症の予防や発生状況等の情報提供が、送迎箇所への掲示、メール配信、園やクラスのおたより等によりなされている。</p> | |

2-(3) 健康及び安全の実施体制

| 評価細目 | 評価結果 |
|---------------------------------------------------------|-------|
| 2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。 | ㉑・b・c |

| | |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。 | ㉑・b・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>① 入園時の保護者アンケートや聴取面談、必要に応じて主治医の診断書や指示箋等をもとに、児童票、個別保育計画書を整理し、全職員への周知・引継ぎの徹底に努められ、アレルギー食対応、偏食解消への対応もなされている。 また、就学前の園児については、保護者とも連携し、必要に応じ小学校への情報提供も行われている。</p> <p>② 厨房の衛生管理、調理従事者の健康管理、食中毒発生防止対策等もマニュアルに従い適切に実施されている。</p> | |

評価分類3 保護者に対する支援

3-(1) 家庭との緊密な連携

| 評価細目 | 評価結果 |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。 | ㉑・b・c |
| 3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。 | a・㉒・c |
| 3-(1)-③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得るための機会を設けている。 | ㉑・b・c |
| 3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。 | a・㉒・c |
| <p>〈コメント〉</p> <p>① 給食については、食育計画とともに偏食解消等の個別計画を作成し、それをもとに給食が実施されている。また、給食だよりの配布及び送迎時に保護者の目に触れるよう日々の献立表の表示と提供した給食の現物見本の展示がなされている。アレルギー対応食や園児の偏食解消等の個別計画に基づく給食がなされ、保護者参観や祖父母参観時の保護者合同給食会も実施されている。</p> <p>② 送迎の際の対話や連絡帳等のやり取りにより保護者と情報の共有が図られているが、保護者との対話から得られた情報の記録が不十分である。</p> <p>③ 保護者懇談会、随時の子育て相談の受付等により、園と保護者の相互理解と情報の共有に向けた取り組みがなされている。</p> <p>④ 虐待防止については、マニュアルを整備し、職員研修の実施等を実施し、未然防止、早期発見に努められている。 計画的な研修会・勉強会の開催、部外講師の活用等も含めた保護者を含めた啓発研修の実施など一層の取り組み強化が望まれる。</p> | |